



Polymer Sealant
GLASSIS
BODY GLASS COATING

ボディガラスコーティング
ポリマーシーラント グラシス


Honjyo

Polymer Sealant GLASS BODY GLASS COATING

MESSAGE

メッセージ

私たち Honjyo は、小さなガソリンスタンドからスタートした企業です。その後、1978年に『ポリマーシーラント』を柱としたカーディティリング事業へ本格的に参入。そして、35年以上の時を経た今、『ポリマーシーラント』のブランドネームを受け継ぐ『グラス』という新たなボディコーティングを発売することとなりました。

現在、自動車業界は激しい変化の時代を迎えています。人口の減少や少子高齢化、エコカーの普及、乗換サイクルのロングライフ化…クルマの買い方、使い方が多様化する中で、各社の顧客囲い込みも激化し、お客様とのコミュニケーションにも、変化と進化、そして、新たなチャレンジが求められています。特に、私たちが開発・販売しているボディコーティングにおいては、従来のように、性能やグレードをアピールするだけでは、効果的な販売が難しくなりつつあります。これからは、お客様のカーライフや、車種、車両の状態、洗車や保管環境などに合わせて、「最適な商品とメンテ

ナンスサービスをセレクトし、ご提案していく。」そんな売り方が主流となっていくはずでは

『グラス』は、こうした市場背景を大きく反映して誕生した“新世代のガラス系ボディコーティング剤”。数値や理論上の“スペック”だけを追求するのではなく、施工する現場のプロと、購入するお客様が感じる“使用感”にこだわり、使いやすく、購入しやすい商品として設計されています。貴社のボディコーティングメニューに、『グラス』という選択肢を加え、時代に最適化したカーディティリング事業を実現していただければ幸いです。



株式会社本荘興産
代表取締役社長 平井新一

GLASS+GENESIS(起源)=GLASIS コーティング剤の新たなスタンダードへ。

日本におけるボディコーティングの“GENESIS=起源”となった『ポリマーシーラント』。
そのDNAを受け継ぐ新世代のガラス系ボディコーティング剤。
それが『GLASIS(グラスシス)』です。

35年以上に渡ってスタンダードで在り続けた『ポリマーシーラント』の、
ナチュラルな美しさ、作業性能、コストパフォーマンスと、
ガラス系ならではの硬質でタフな被膜を併せ持つ、ハイブリッドなスペック。
『GLASIS』からボディコーティングの新たなスタンダードがはじまります。

HISTORY

Honjyoの歴代主力ボディコーティング



ガソリンスタンド時代の本荘興産



1978年、『ポリマーシーラント』発売開始



2010年、『コーティング塾』スタート

Honjyoは、地方の小さなガソリンスタンドから出発した会社です。時は1978年。活況だった自動車業界では、多くのショップやスタンドが乱立し、“競争の時代”がスタート。“差別化”や“付加価値”が求められるようになりました。Honjyoは、こうしたニーズにいち早く着目し、業態を洗車・美装の専門メーカーに変更。カーディテリング事業に本格参入したのです。そして約35年以上経た今、Honjyoは、“現場で愛用されるものづくり”をテーマに、変化する市況を捉えながら、独創的な製品とアイデアのご提案を続けています。

[ガラスの3大ポイント]



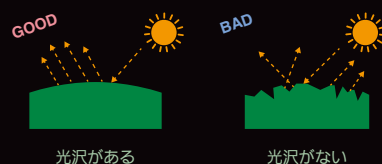
1 高硬度のガラス系被膜

『ガラス』は7H(鉛筆硬度試験)という高硬度を発揮。これは、ゴシゴシ洗いや走行摩擦によるキズを軽減するには十分な性能です。つまり、D.I.Y. 洗車派のカーオーナーに最適なボディコーティングと言えます。また、“硬質=鉄粉が付着しにくい/付着しても取れやすい”という魅力もあるため、工業地帯や交通量が多い地域にお住まいの方にもお勧めです。



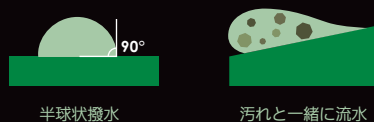
2 塗装本来の美しさを引き出す

ワックス等のケミカルが“ツヤ”を加えることを重視しているのに対し、『ガラス』は、塗装本来の色調を活かし、自然な美しさを引き出す商品。透明度と強度に優れたガラス被膜により、ナチュラルで強い輝きを、長期間キープします。



3 ナチュラルな撥水感をキープ

『ガラス』の撥水は、新車時の塗装面とほぼ同等となる水接触角約90度。新車時のようなナチュラルな撥水を主眼に置いて開発されました。フラットな流水による十分なセルフクリーニング作用が期待できます。



【性能&テスト】

	ポリマーシーラント	ガラス	ガラスネオ
分類	フッ素系コーティング	ガラス系コーティング	ガラス系コーティング
主成分	シリコーン樹脂、フッ素	アルコキシラン	アルコキシラン
推奨施工サイクル	半年～1年	1年～2年	2年～3年
特化ポイント	◎光沢・ツヤの向上	◎耐擦り傷性	◎超撥水+耐久性
① 光沢感	4	3	4
② 平滑性	5	3	3
③ 撥水性	2	4	5
④ 硬度	2	5	5
⑤ 耐候性	2	4	5
⑥ 耐洗浄性	3	4	5
⑦ 美感持続力	2	3	5
⑧ 施工の簡易性	2	4	3
⑨ 材料コスト	5	3	2
⑩ 再施工の簡易性	3	4	3
総計 (50点満点)	30点	37点	40点

自社コーティング比較

『ガラス』も含めた Honjyo 主要ボディコーティング3種の比較データです。各商品の長所・短所を熟知した上で販売していただけるよう、成分や性能などの基本情報だけではなく、それぞれの特化ポイント、作業性、コスト等、様々な角度から明解に評価しました。

撥水比較試験

この3枚の写真は『ガラス』を施工したボンネットを「施工直後」「1ヶ月後」「30回洗浄後」のタイミングで観察した撥水状態のサンプルです。

TEST_01

施工直後



施工面

未施工面

施工直後の撥水は、球状に近い撥水。

TEST_02

施工1ヶ月後



施工面

未施工面

若干、球形が崩れるものの、高い撥水性を維持し続けている。

TEST_03

30回洗浄後



施工面

未施工面

カーシャンプーで30回洗浄を行ったが、高い撥水性を維持し続けている。

TESTERS VOICE

データが裏付けた、確かな商品性能

『ガラス』はいわゆる超撥水タイプとは異なり、新車時のボディ表面が持つ平滑性、ナチュラルな撥水感をキープするボディコーティングです。比較試験では、“汚れやキズがつきにくい→付着した汚れを除去しやすい→撥水が保たれる”という『ガラス』の特性がはっきりと証明されました。また、撥水試験の他にも、「ボディコーティングの使用感」を追求し、約10ヶ月間に渡って、複数台のモニター車両を用いた施工後観察とユーザーアンケートを実施。特に「洗車によるゴシゴシキズができてにくい」「鉄粉などのザラツキが以前よりかなり減った」といった声が寄せられました。



[施工方法 & 標準価格]

中型クラスで作業時間約60分



1 カーシャンプーで手洗い洗車



カーシャンプーでしっかり泡を立ててスポンジで汚れを落とす。



2 グラスをボディに塗布する



塗布用クロス面に適量取り、ボディにうすく均一に塗り広げる。1~2パネルごとに塗布し、1分程度乾燥させる。



3 乾燥後の粉を拭き上げる



1分程度乾燥させた後、2枚の拭き取りクロスで拭き取る。(ガラスは速乾性のため1~2パネルを目安に塗布~拭き上げを繰り返します)



4 拭き残しが無いか確認する



次のパネルに移る前に、塗布した箇所の拭き残しが無いか必ず確認する。

標準価格 (税別)

車種	軽自動車	小型車	中型車	大型車	RV・ワゴン
基本料金	33,000円	38,000円	45,000円	53,000円	63,000円
下地処理	別途請求				

※下地処理料金は施工受付時にボディチェックを行い、塗装表面の状態により別途お見積り

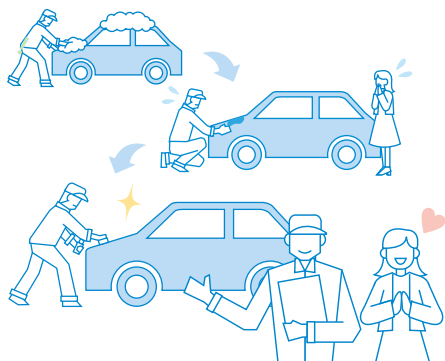
[セールス方法のポイント]

これまでのボディコーティングは、ディーラーを中心に普及した「添付販売」が主流でした。次世代のカーディティリング事業では、従来の「添付販売」に加え、幅広く、柔軟なセールス方法が求められています。



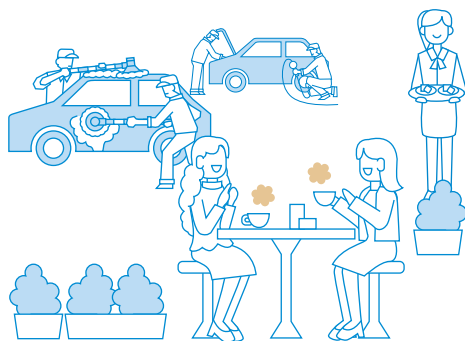
“嗜好品”としてではなく “必需品”として売り込む

ボディコーティングは、クルマ好きのための“嗜好品”から「キレイなクルマに長く乗りたい」と考える幅広い層のための“必需品”へと変化しつつあります。つまり、ボディコーティングの知識が少ない方にもご納得いただけるような、機能やメリット、メンテナンスの仕方などを、わかりやすくお伝えしていく売り方が必要となってきます。



“ボディ健康診断”を きっかけに提案する

手洗い洗車や車検・定期点検などの中に、無料の“ボディ健康診断”を組み込み、塗装面のキズやシミなどチェック。その診断結果をお伝えしながら、改善方法のひとつとして、研磨処理やボディコーティングをご提案することで、より多くの見込み客をキャッチすることが可能になります。



“アフターケア”とセットで 気軽に立ちよる“常連様”を増やす

ボディコーティングの性能は、定期的な「アフターケア」があってこそ発揮されるもの。そこで有効なのが「定期アフターケア」をセットとしたパッケージのご提案。車販時のオイルリザーブサービスと同様に、一度の購入をきっかけに“常連様”を獲得できるので、囲い込みにも有効。快適な待合スペースやドリンクコーナーをご用意して、カフェ感覚で気軽にお立ちよりのいただけるショップを目指しましょう。



LESSON

専門トレーナーがじっくり指導 個別技術指導 (有料※)

「はじめてボディコーティング事業にチャレンジする」「新車以外の既販車のキズ・シミの研磨処理なども、積極的に取り組みたい」そんな業者様におすすめのサポートメニューをご用意しました。1回のレッスンはじっくり3～5時間程度。1台の車両を使って、専門のトレーナーによる技術指導を行います。1回の受講は1～5人程度まで。カリキュラムはご要望・ご都合に合わせて組み立てますので、まずはお気軽にご相談ください。

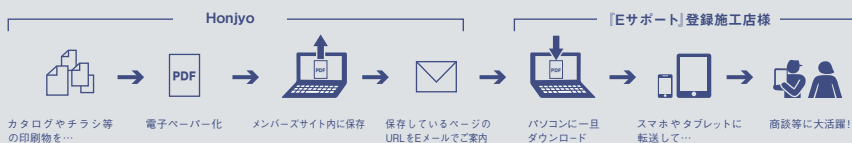


ONLINE SUPPORT

登録店専用ウェブサイト

Honjyoメンバーズサイト

Honjyoの製品カタログや作業マニュアル、情報誌のバックナンバーなどを登録店専用のウェブサイトにて公開しています。メンバーズショップ登録店であれば、必要なときにいつでもダウンロード・閲覧が可能です。



DESIGN WORKS

社内制作チーム

Honjyoデザイン室

Honjyoにはクルマ業界に特化したデザインチームがあります。サービスメニューやポスター、キャンペーンを打つ際のチラシや、会員サービスの会員証、さらには新店舗のネーミングやロゴマーク、マスコットキャラや名刺まで、さまざまなデザインをオリジナルで制作することが可能です。まずはお気軽にご相談ください。



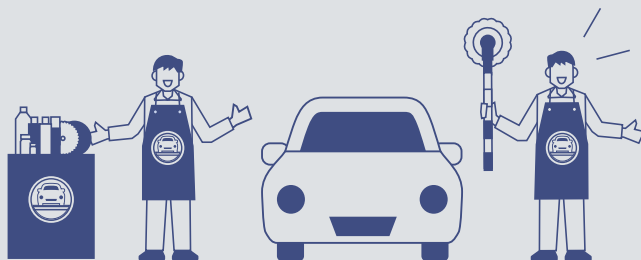
[サポート体制]

“モノ”をつくり、“コト”をご提案する。

Honjyoはコーティング剤をはじめ、洗車やポリッシングのツールなど、様々な美装製品を開発・販売する“クルマのキレイの総合ブランド”です。クルマのプロである皆様に「相棒」と呼んでいただけるような、長く愛されるものづくりを目指しています。

Honjyoが提供するの製品＝“モノ”だけにとどまりません。知識、技術、販売、広告など、カービジネス成功に必要なノウハウ＝“コト”のご提案も、Honjyoの得意技。

“モノ”×“コト”の相乗効果で、メンバーズショップの皆様を強力にバックアップいたします。



SCHOOL

倉敷専用工場で定期開催 コーティング塾 (無料※)

Honjyoでは、カーディテリング事業に必要とされる、道具・技術・環境などを基礎から学べる無料の研修会「コーティング塾」を月1回ペースで定期開催しています。1泊2日で、実技からビジネス戦略、プロモーションまでを集中的に学べるため、現場スタッフはもちろん、若手経営者や管理職の方々にもご好評いただいております。

※メンバーズショップの方は受講料が無料となります。交通費・宿泊費のみご負担いただけます。

コーティング塾の3つの学びのポイント

STUDY_01

技術者育成



洗車、磨き、コーティングに必要な正しい姿勢（フォーム）を身につけることで、作業品質とスピードを劇的に改善。また「黒・濃色ボディの研磨方法」や「施工環境のつくり方」など、お客様のご要望に応じたレクチャーもさせていただきます。

STUDY_02

基礎知識



「コーティング剤の成分や組成」「塗装との密着メカニズム」など、お客様との商談にも活かすことができる化学知識もカバー。製品の性質や塗装の状態を正しく知ること、確実な作業品質の向上を実現させます。

STUDY_03

販売戦略&トーク術



「洗車で集客を図り、コーティングで収益を獲得する」という考え方をベースに、販売戦略のポイントをレクチャー。また、お客様の車のボディ健康診断をきっかけに、セールスに結びつけるトーク術もご紹介させていただきます。

発売元

株式会社 本荘興産

TEL 086-475-0950

FAX 086-475-0952

HP www.honjyo-k.com

f www.facebook.com/honjyo.jp

Copyright(C) 2015 HonjyoKosan co.,Ltd All Rights Reserved.
